

【 要 請 書 】

2022年9月22日

長野市教育委員会

長野市教育長 丸山陽一様

〒387-0001 千曲市雨宮 2374 生活クラブ生活協同組合

長野北支部 青木昌子

長野中央支部 片山幸子

長野南支部 山岸綾子

『長野市の小学校で、ゲノム編集トマト苗を受け取らないでください。』

ゲノム編集技術を使った食品の生産・流通が認められるようになり、2021年にはサナテックシード(株)／パイオニアエコサイエンス(株)によるゲノム編集トマト「シシリアンルージュ ハイギャバ」の認可があり、市民4,000人に無償配布されました。マダイ・トラフグでも認可がおりており、トラフグについては、ふるさと納税の返礼品になるなど、流通が始まっています。

酵素を用いて特定の場所を切断し、DNAに変化を起こすゲノム編集技術は、別の遺伝子を組み込まないことから、従来の品種改良と変わらないとして、厚生労働省に届け出を出すだけで流通できるようになっており、表示義務也没有ありません。

食品同様、タネや苗にも表示義務がないため、家庭菜園などで知らない間にゲノム編集されたものを使用する可能性があり、食品流通のすべての過程で遺伝子操作の有無を判別することは難しくなっています。

生活クラブ生協では、多角的かつ長期的なリスクに関する情報が十分に公開されることなく、ゲノム編集食品の経済効果だけを重視した商業化と、それを後押しする行政対応が進められていることに危機感を持っています。

パイオニアエコサイエンス(株)は、【来年：2022年から*障がい児介護福祉施設にゲノム編集トマト「シシリアンルージュ ハイギャバ」の苗を無償配布、さらには2023年には小学校に苗を無償提供して、子どもたちがこのトマトを育てるようにしていきたい】と発表しました。

既に無償配布の案内があった、長野市の*障がい児介護福祉施設に該当すると思われる学校に勤務されている方は、「無償配布の案内を見たがゲノム編集トマトであることは気が付かなかった」とおっしゃっていました。

*会社の発表に準じた表現を使っております。

ゲノム編集作物であると「知らないまま口にする事」「知らないまま栽培し周辺で交雑が進み、環境に影響を与える事」それを望む人はいません。また安全性が確認されていない食品を、子どもたちに食べさせることには強い懸念があります。

私たちは、長野市教育委員会に対して、小学校54校がゲノム編集苗を受け取らないように要請します。

◆要請事項

- 1 小学校へのゲノム編集トマト「シシリアンルージュ ハイギャバ」の苗の無償配布に対し、安易にこれを受け取る事がないよう要請します。

以上